

ワークショップ「華宵好みの帽子作り」

大正末から昭和初めにかけて、数々の雑誌に挿絵を描き、一世を風靡した画家高 島 華 宵 (1888～1966年)を紹介する展覧会に併せて、華宵の作品に描かれた帽子を実際にするワークショップを開催します。

華宵が描いた洋服や着物、帽子などは、当時「華宵好み」と呼ばれ、ファッションリーダーとして「銀座行進曲」という流行歌にも登場しました。今回は、麻の生地を使ったピコロールのボネ(2色使いのふち無し帽)を作ります。

と き：7月31日(土)・8月1日(日) 午後1時～5時
講 師：永井由絵氏(帽子デザイナー)
参 加 料：1人2,000円(材料費込み)
定 員：各日4名(高校生以上・先着順) ※2日間とも同じ内容です。
申込方法：美術館へ電話で申し込む

◆展覧会「挿絵≡日本画 高島華宵の大正イマジユリ」

会 期：7月24日(土)～9月12日(日)

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

入 館 料：一般…700(300)円、大学・高校生…500(200)円、小中学生…無料 ※()内は市民割引券を利用した際の料金です。



高島華宵「少女の国」表紙絵
(大正末期～昭和3年頃)
この作品に描かれている帽子
を作ります。

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO

小杉放菴記念日光美術館

日光市の文化財

37

南山通り一里塚

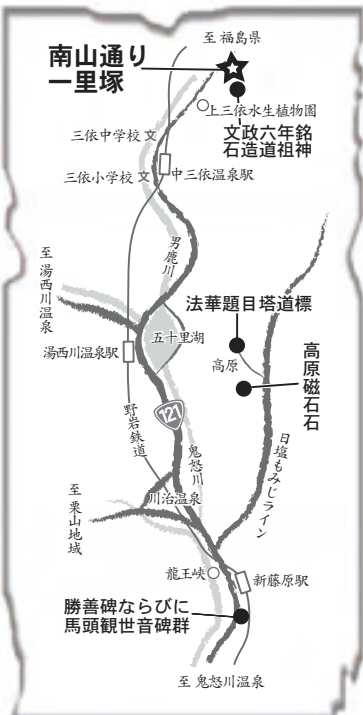


基が対になっていました。

南山通り一里塚は、会津西街道の横川と上三依にある二か所の一里塚の総称になります。どちらの塚も造られた当時は二基ずつありましたが、横川のは片方が失われ、上三依では片方が崩れて小さくなっています。

会津西街道は会津と関東を結ぶ重要な道路であったため、会津藩により整備が行われ、一里塚が造られました。横川一里塚は現在の国道二一一号沿いにありますが、上三依一里塚は砂利敷きの旧道沿い(上三依水生植物園近く)にあり、路線の変遷を示しています。

二つの塚は、旧藤原町における江戸時代の街道整備や道路の変遷を伝えるという点で貴重な文化財です。



歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1(今市図書館隣) ☎0286-217
開館時間 午前9時～午後6時(入館無料)
休館日 毎週月曜日、祝日(7月19日・20日休館)



今回は、資料館と共に調査・研究活動をしている歴史・自然研究団体について紹介します。

◆今市史談会

今市を中心に地域の歴史について、研究と交流を図るために平成3年に結成された会です。毎月の会報発行や会員による研究発表会、史跡見学会などを行っています。これから研究を始めたい初心者の方でも大歓迎です。

○年会費 2,000円

○会員数 約90名

◆今市の自然を知る会

今市地域の植物分布など自然について、研究と交流を図るために昭和61年に結成された会です。植物調査や自然観察会、年3回の会報発行、大谷川河川敷でのカワラノギク(絶滅危惧種)保護活動などを行っています。野草や樹木など植物に詳しい会員が多くそろっています。

○年会費 1,000円

※いずれも資料館が事務局です。歴史や自然に興味のある方ならどなたでも入会できますので、資料館へお問い合わせください。



カワラノギク植栽の様子。

◆催し◆

◆企画展「びっくり昆虫展」

7月10日(土)～9月12日(日)

◆千本木丘陵周辺植物調査

7月24日(土)午前8時40分から

◆たんけん! 今市宿

7月25日(日)

午前9時30分～正午

※詳細は、情報なび(27ページ)をご覧ください。

市民文芸

川柳 選者 日野原元児

畦道を帰る月夜の急ぎ足

幸せは帰る古巣がそこにあり

終生を巧みに生きた笑い皺

押入れに五歳の意地を押し込める

階段をまた上らせる物忘れ

夕飯のメニューは裏の山にある

核心に触れる準備の生ビール

俳句 選者 須藤火珠男

真っ直ぐに行きて虹の輪くぐるべし

暮れるまで遊んで行きし春の雪

眠り猫幾百年の長閑しや

新緑の雨に洗わる羅漢像

おもむろに大深呼吸風薫る

人馬一体若葉煌めきの射る

山桜友よせゝらく音ばかり

青木竜雄

小野口英一郎

田中 孝

大島仁章

藤本美佐子

吉新勝夫

吉田貴博

星野恒志

白土武夫

篠原幸子

渡辺ミチ子

鈴木キヌ子

福田美代子

池田三夫

短歌 選者 阿久津伸一

若き日に親しみしかるた手放さん共に

に睦みし友みな遠く

御当主の旅立ちしあと庭の松かたまりとなり我を威嚇す

温泉に心も体も癒されて友と語らう

一日楽しき

金田満寿子

湯タンポの温もり包むケース編む指

かるやかに糸を操り

一周忌過ぎてても残る古里の夫の心の

新相馬節

北崎 君

村田登美

鶴ヶ城幾多の歴史胸に秘め天守から

見る花見の宴

櫻澤総一

はらはらと散る花びらはかなさは

真昼静寂の孤独にありぬ

大森トミ子

作品を募集しています!

川柳・俳句・短歌を募集しています。氏名(ふりがな)、住所、電話番号を明記して、ご応募ください。

応募先及びくわしくは

秘書広報課 広報広聴係

☎(21)5135・FAX(21)5109